

# いわき市感染症発生動向調査

令和8年第21週(5月18日～5月24日)

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数	最近の傾向(過去2週間との比較)
1	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.20	増加
2	感染性胃腸炎	3.60	増加
3	水痘	1.20	増加

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

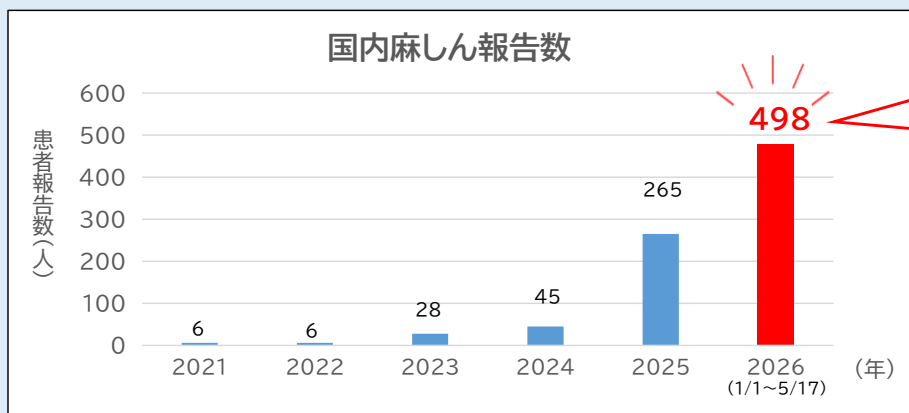
## ○今週のトピックス

### ◆麻しん(はしか)に注意◆

◆国内外における麻しん(はしか)の報告数が増加しています。  
 全国では10～20代を中心に拡大しており、集団感染も報告されています。  
 空気感染などによりヒトからヒトへの感染力が非常に強い感染症です。  
 感染の約10日後に発熱や咳などの風邪症状が現れ、**39度以上の高熱と発しん**が現れます。  
**ワクチン接種が有効な手段**ですので、定期接種の対象者(1歳児、小学校就学前1年間の幼児)は  
 ワクチンの接種をご検討ください。  
 発疹等麻しんを疑う症状がある場合には**医療機関に事前に連絡をしてから受診**をお願いします。



【麻しん(はしか)について】  
市ホームページ



令和7年の同時期に比べて**約4倍**になっています



### ◆水痘(水ぼうそう)に注意◆

◆市内における水痘(水ぼうそう)の報告数が増加しています。  
 水痘は水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で、**かゆみを伴う発しんが全身に現れます**。  
 お子さんに多い感染症ですが、**大人(特に妊婦)が初めて感染すると重症化する恐れ**があります。  
**タオルの共有を避ける**などの感染対策を心がけましょう。**ワクチン接種も有効**です。



【こどもの定期予防接種について】  
市ホームページ

